

厚生労働省

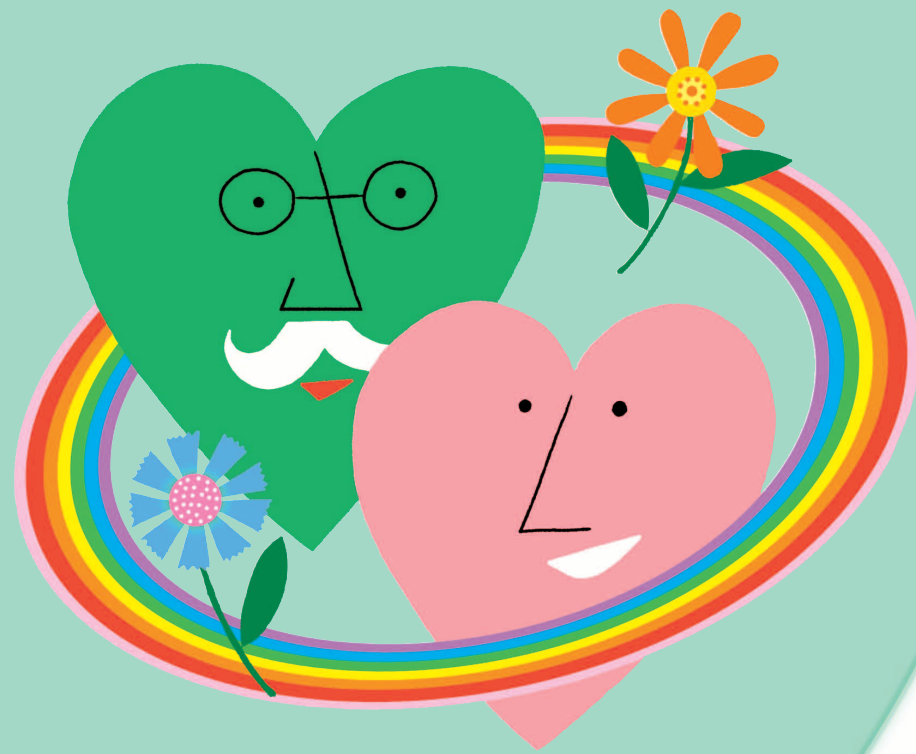
わかるまで
聞こう話そう伝えよう

医療安全推進週間

平成19年11月25日(日)～12月1日(土)

厚生労働省では11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」の推進を図っています。その一環として、国民の皆様幅広く医療安全に関する取り組みをご紹介するために、どなたでも参加できる公開フォーラム「みんなで創ろう、私たちの医療～患者・医療者・地域社会の取り組み」の開催を企画いたしました。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/index.html>



医療安全推進週間 公開フォーラム 平成19年11月25日(日) 13:50～16:45
「みんなで創ろう、私たちの医療 — 患者・医療者・地域社会の取り組み」

1 開会の辞

岡本 浩二 氏(厚生労働省大臣官房参事官)／上原 鳴夫 氏(医療の質・安全学会第2回学術集会会長)

2 患者本位の医療をめざす患者・医療者・地域社会の取り組み

司会 丸木 一成 氏(国際医療福祉大学大学院教授)／佐原 康之 氏(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室室長)

- (1)患者さんの取り組み 本田 麻由美 氏(読売新聞社記者)
- (2)医療機関の取り組み 岡本 左和子 氏(元ジョンズ・ホプキンス大学病院Patient Advocate)
- (3)地域社会の取り組み 前村 聡 氏(日本経済新聞社記者)

3 パネル討議「パートナーシップに基づく新しい医療のかたちを創るために」

司 会 開原 成允 氏(国際医療福祉大学大学院院長)／山内 桂子 氏(医療の質・安全学会パートナーシップ・プログラム代表)

パネリスト デボラ・ホフマン 氏(ダナ・ファーバーがん研究所患者と家族のためのセンター)／赤津 晴子 氏(ピッツバーグ大学)
藤井 裕志 氏(下関市医療相談窓口(下関市立下関保健所))／伊藤 雅治 氏((社)全国社会保険協会連合会理事長)
大平 勝美 氏(はばたき福祉事業団理事長)ほか

- 討議事項 ①「患者本位の医療」が意味するもの ②患者さんのエンパワーメントとアドボカシーの役割
③患者-医療者のパートナーシップ ④パートナーシップを育てる地域社会の役割 ほか

※今年度のフォーラムは、同日の午前に開催される国際シンポジウム“PEOPLE AT THE CENTRE:21世紀の医療と医療システムを求めて”
(共催:世界保健機関(WHO/WPRO/SEARO)及び医療の質・安全学会、後援:厚生労働省)と連携して開催することとしています。

会 場 東京国際フォーラム(東京都千代田区)
参加費 無料(どなたでもご参加いただけます)
共 催 厚生労働省、世界保健機関及び医療の質・安全学会

お問合せ 医療安全推進週間公開フォーラム事務局
メールアドレス: qshpci@qsh.jp
電話: 03-3225-6591 FAX: 03-3225-6590

※中央行事以外にも各地方厚生局において医療安全ワークショップを開催し医療現場における安全意識の向上に努めています。

主 催 厚生労働省
後援団体

文部科学省、各都道府県、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、社会福祉法人恩賜財団済生会、財団法人医療関連サービス振興会、健康保険組合連合会、財団法人厚生年金事業振興団、国家公務員共済組合連合会、財団法人船員保険会、全国国民健康保険診療施設協議会、全国厚生農業協同組合連合会、社団法人全国社会保険協会連合会、社団法人全国自治体病院協議会、全国ビルメンテナンス協会、社団法人全日本病院協会、社団法人地方公務員共済組合協議会、社団法人日本医師会、社団法人日本医療経営コンサルタント協会、日本医療機器産業連合会、財団法人日本医療機能評価機構、社団法人日本医療法人協会、社団法人日本衛生検査所協会、社団法人日本看護協会、社団法人日本歯科医師会、社団法人日本歯科衛生士会、社団法人日本歯科技工士会、社団法人日本私立医科大学協会、社団法人日本精神科病院協会、社団法人日本精神科看護技術協会、日本製薬団体連合会、日本赤十字社、社団法人日本病院会、社団法人日本病院寝具協会、社団法人日本病院薬剤師会、社団法人日本放射線技師会、社団法人日本薬剤師会、社団法人日本臨床衛生検査技師会、社団法人日本臨床工学技士会、社会福祉法人北海道社会事業協会